

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 363. 2011. 7. 31.

ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ

全ての国に核兵器の全面禁止を

原水爆禁止2011世界大会長崎に行ってきます

8月3日から原水爆禁止世界大会が始まります。私は、7日からの長崎大会に10年ぶりに参加します。東日本大震災、福島原発事故の惨状と原爆が投下された広島、長崎の映像が重なります。唯一の被爆国日本から、「核兵器も原発も人類と共存しない。全面禁止、撤廃」の声を広げていきましょう。

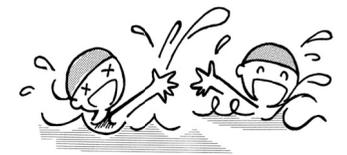
核弾頭の保有数と世界の主な核実験場



今も世界には、2万発もの核兵器が貯蔵、配備され人類の生存を脅かしています。アメリカの「核の傘」に依存する日本は、核兵器禁止条約の交渉を求める国連決議に棄権するなど、被爆国にあるまじき態度をとつ

政府・国際機関の代表、被爆者、NGO（非政府組織）が一堂に会します。全体会、分科会楽しみです。さあ、子どもたちに平和な地球を手渡すために、今を大事に行動しましょう。（新しい署名は裏面にあります。）

できました。非核三原則を履行し、核兵器廃絶の先頭に立つことが、強く求められています。私は原発事故後、戦争目的で開発された原子力潜水艦の動力炉を、民間に転用したのが原子力発電である事を知りました。安全は二の次、「未完成」危険な原発は撤廃しかありません。世界大会には、25カ国から、反核運動のリーダー、



核兵器全面禁止 のアピール



1945年8月、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに二つの街を廃墟に変え、21万の人々の命を奪いました。いまなお20万を超える被爆者が苦しんでいます。この悲劇をいかなる地にもくり返してはなりません。

いま核兵器の廃絶を求める声は世界にひろがっています。多くの国で市民が行動し、政府がその実現を支持しています。ヒロシマ・ナガサキをくり返させないもっとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し、廃絶することです。

2010年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議では、核保有国を含む189の国々が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。いま、それを実行に移すときです。

**私たちはすべての国の政府に、
すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。**

名 前	住 所	募 金

ご記入いただいたお名前や住所などの個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

この署名は2011年2月15日、被爆地広島、長崎から、両市長をはじめ内外の広範な賛同を得てスタートしました。
みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

取扱団体 **原水爆禁止日本協議会**
東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階
Tel. 03-5842-6031 Fax. 03-5842-6033

私たちも賛同しています。

吉永小百合 (女優)	湯川れい子 (音楽評論家)
沢田 研二 (歌手)	さとう宗幸 (歌手)
宝田 明 (俳優)	宮本 和郎 (画家)
亀渕 友香 (歌手)	上條 恒彦 (歌手・俳優)
奈良岡朋子 (俳優)	大澤 豊 (映画監督)
服部 郁弘 (全国漁業協同組合連合会代表理事会長)	梅林 宏道 (NPO法人ピースデポ)

(順不同、敬称略、2011年6月15日現在)